

サラート・アル=ジュマア (きんようれいはい) :
しゅう に いちどの ムスリム の ついで

しんあい なる ムスリム の みなさま !

きょうとおなじく、あるきんようびのことです。わたしたちのあいするよげんしゃが、ヒジュラというこんななたびをおえてついにマディーナにたどりつきました。アル=ラヌーナとよばれるばしょにとうちやくしたときには、すでにズフルのじこくでした。そこでアッラーのしとは、かれをかんげいするためにあつまったしんこうしゃにホトバをとどけ、さいしょのきんようれいはいをおこないました。

ヒジュラのあいだにおきたこのできごとらしい、きんようびはしゅうにいちどムスリムがつどうイードのひということになりました。このひらしい、まいしゅうきんようびになると、わたしたちもはかりしれないこうふくとかんどをあげています。めぐるいっしゅうかんのなかで、きんようびはとくべつなひだからです。それはあらゆるぞくせのしんぱいごとをはなれ、しゅ(スバーナワタラー)のまえにたつひです。アッラー(スバーナワタラー)へのけんしんというきずなをさいどたしかめ、このひのいりがこぼまれることはないとしたうえでアッラー(スバーナワタラー)にいのるひです。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま !

きょうのわたしたちにとり、もっともじゅうようなせきにんとはきんようれいはいをおこなうことです。ホトバのぼうとうでろうどくしたとおり、ぜんろうのアッラー(スバーナワタラー)はつぎのようにつげておられます。「しんじるものたちよ。しゅうかいのひにれいはいのよびごえをきいたときは、アッラーをおもいおこすことにいそぎ、とりひきからはなれなさい。そのほうがあなたがたのためによい、もしあなたがたがしてさえいたなら。」¹

しんあい なる ムスリム の みなさま !

せいとうなしゅうきょうじょうのりゆうなくしてきんようれいはいをおこたることは、じゅうだいなつみにあたります。アッラーのしとは、このことについてつぎのようにけいこくしています。「かえりみなかったというりゆうで、さんど、きんようれいはいをせずにいたものには、アッラーがそのところにふうをしたまう」。²

ですから、たいようがのぼるひのうちでもっともよいひであるきんようびのかちとゆたかなしゅくふくをいかすようにしましょう。³ きんようびを、ともにアッラーをおもいおこし、れいはいし、どうほうのきずなをふかめるきかいにしましょう。こんしゅうのきんようれいはいのホトバを、わたしたちのあいするよげんしゃのつぎのハディースをもっておわります。「しっかりとウドウをしてきんようれいはいにのぞみ、(ホトバに)みみをかたむけるひとは、そのときからつぎのきんようまですべてのつみがゆるされるだろう」。⁴

¹ Jumu'ah, 62/9.

² Ibn Majah, Iqamat, 93.

³ Muslim, Jumu'ah, 18.

⁴ Muslim, Jumu'ah, 27